

2003年12月8日発行

熊本県地域福祉メールマガジン

月刊「みんなでたのしく輪になって」No. 10

【発行】 熊本県健康福祉部福祉のまちづくり課地域福祉企画班

昨年11月に地域福祉メルマガを創刊して早1年、ようやく10号にたどり着くことができました。いつもご愛読ありがとうございます。

このメルマガは、ご存知のとおり、県からの情報を提供するだけでなく、みなさんからの情報やご意見を紹介する場としてもご活用していただきたいと思いますので、みなさんからの地域福祉に関する情報提供・ご意見お待ちしております。

今後ともよろしく願いいたします。

目次

市町村情報

福祉のまちづくり専門アドバイザーを利用した地域福祉計画策定について

鹿本町

～福祉のまちづくりアドバイザーがまちにやってきた。～

本渡市

～みんなで語ろう、私たちの福祉～

トピックス

第5回阿蘇やまびこふれあいフェスタが開催されました

市町村情報

福祉のまちづくり専門アドバイザーを利用した地域福祉計画策定について

鹿本町

～福祉のまちづくりアドバイザーがまちにやってきた。～

本渡市

～みんなで語ろう、私たちの福祉～

先月号でお伝えいたしました、県の本年度の新規事業、福祉のまちづくり専門アドバイザー派遣事業の続報です。

鹿本町

～福祉のまちづくり専門アドバイザーがまちにやってきた。～

鹿本町地域福祉計画作業部会

鹿本町では、平成14年度から庁舎内プロジェクトを立ち上げ、3つの地区でワークショップを実施しています。

これまで、作業部会でいろいろ検討してきましたが、住民の意見をどのように取り込んだら良いか、専門家の助言がほしいということで、福祉のまちづくり専門アドバイザーの一人である熊本学園大学助教授小野先生の出番となりました。

庁内の関係各課はもちろんのこと、社協、子育て支援センターなどの関係者が集まり、これまでの経過と今後の予定について説明がありました。

次に、小野先生から、地域福祉計画の基本的な考え方の説明があり、特に住民参加を強調されると、うなずく者、不安な表情の者と交錯していました。

(確かに、住民参加とは短い言葉であるが、つかみにくく、奥深いものかもしれない)

説明が終わると小野先生のコーディネートで自由討議が始まりました。

商店街の空店舗の活用や、高齢者向けの農産物の開発、道路のバリアフリー化、子どもが自由に遊べる場所の必要性など、それぞれの立場からの意見があり、「住民の要望は分かるが予算的なもの、人的なもの、他分野との整合性など、なかなか進まない」と、苦悩されている声もありました。

(確かに、行政は万能ではない。しかし、なぜできないのか、住民にきちっとしたかたちで説明すればわかってもらえるかもしれない?)

小野先生は、なぜ進まないのか、なぜまちがよくなるのか、住民参加で、関係者みんなで、話し合うことが必要であるとコメントされました。

(確かに、地域福祉はそこから始まるのかも。)

次は、策定委員さんにも自由に意見を述べてもらうように、ワークショップ形式で委員会を実施しようではないかと提案がありました。

(確かに、鹿本町民の自由討議による地域福祉計画、おもしろいかも。また、小野先生の出番かもしれない。)

本渡市

～みんなで語ろう、私たちの福祉～

10月26日(日)に本渡市保険福祉センターで「本渡市福祉まつり」の一環として、地域福祉計画策定のための「みんなで語ろう、私たちの福祉」という市民座談会がありました。このイベントには、県立大学総合管理学部の今里助教授が、福祉のまちづくり専門アドバイザーとして参加されましたので、その時の様子をご紹介します。

当日は、晴天にも恵まれ、会場の広場では本渡市内の各施設による日頃の活動成果である様々な作品の展示や物品の販売が行われており、多くの市民で賑わっていました。また、ホールの中にも、中学生からお年寄りの方まで多くの方が参加しておられました。

座談会では、まず最初に本渡市の平田福祉課長から地域福祉計画の策定に当たって、市内各区で延べ7回市民座談会を開くので、市民の皆さんの参加協力の呼びかけがありました。

その後、今里先生から、地域福祉計画についてパワーポイントを使ったわかりやすい説明がありました。

我が国の福祉制度や福祉に対する考え方、対象者等の変遷、そういう変遷の中での地域福祉や地域福祉計画の意義、また今回本渡市が取り組もうとしておられる住民参加の必要性、更には計画づくりのプロセスについて具体的な話を交えながら説明がありました。

その後、出席者を10班に分け、早速「模擬ワークショップ」が始まりました。男子中学生、女子中学生の各グループを始め、婦人会、老人会、青壮年等の各グループで議論が行われました。

今回は「地域の課題」をテーマに議論が行われました。

まず、何でもいいから本渡市で地域住民が困っていることについて、思いつくまま出し合いました。それから、出された課題を類似するものごとにまとめ、体系化していきました。

次に、各グループ毎に障害者や高齢者、子どもなどになりきってもらい、それぞれの視点に立って、地域の課題を同じように出し合いました。今度は、特定の視点から考察することで、より深い考察ができたように感じました。

このような具合で、2時間という座談会があっという間に過ぎてしまった感じがしました。本渡市の皆さんはワークショップなるものを初めて経験された方も多いようで、正直言って最初は議論がぎこちない様子でしたが、終わりの方では随分慣れてこられたように感じました。

今後、市内各地で座談会が開催されると思いますが、きっと多くの市民の皆さんが座談会に参加され、貴重な意見をたくさん出し合い、素晴らしい地域福祉計画ができることを予感させる1日でした。本渡市の地域福祉計画が策定されましたら、是非みなさんにもご紹介させていただきたいと思います。

トピックス

第5回阿蘇やまびこふれあいフェスタが開催されました

去る平成15年11月24日(月)阿蘇町立体育館で「第5回阿蘇やまびこふれあいフェスタ」が盛大に開催されました。

今回で5回目を数えるこのフェスタは、阿蘇郡町村社会福祉協議会が主催となり、平成11年から毎年開いているものです。

「ボランティア」という言葉が注目を浴びるずっと昔から、阿蘇地方にあった「結い」「かちゃり」(久木野周辺の方言で“もやい”の意)「隣組」等のたすけあい・ささえあいの組織のこころを、「たすけあい・ささえあいの輪」として福祉に活かし、お年寄りや子どもたち、障害者の方々と、その方々を取り巻く近所の方、民生委員、老人クラブ、福祉関係機関・団体、郵便局、警察、消防などが安否確認、声かけ、見守り活動を通してネットワークの手をつなぎ、心あたたまるコミュニケーションづくりを展開しています。この活動は、「阿蘇やまびこネットワーク」として住民の方々に深く浸透し、誰もが阿蘇の自然の中で、安心して暮らしていける地域づくりへと展開しています。

当日会場には、阿蘇郡各町村から約800名もの多くの方が集まりました。

冒頭に阿蘇郡町村社会福祉協議会が作成している阿蘇やまびこネットワークのホームページ(<http://www.aso-yamabiko.gr.jp>)を紹介され、続いて講演会としまして、落語家の「桂こけ枝(かつら こけし)」さんをお招きし、「こけ枝のほのぼの福祉噺～真(心・深・芯)のバリアフリー」と題しての御講演と健康をテーマとした落語をご披露いただきました。また、アトラクションとして、嵐会による大阿蘇仙嵐太鼓、手話サークル「わかぎ」による手話を取り入れた歌、スクランブル・ズによるバンド演奏も行われました。

昼食には、JA阿蘇から提供いただいた阿蘇コシヒカリや野菜などの食材を使って、参加者800人分のカレーライスの炊出しが行われました。ちなみに今回のカレーの出来は非常に良く、来場者からは「おいしかった。」と大変好評でした。

また、展示コーナーには、社会福祉施設などの各協力団体、法務局、県等による施設紹介や人権、

福祉全般、DV（ドメスティックバイオレンス）、UD（ユニバーサルデザイン）関係などの資料展示や、施設入所の方々が心を込めて作られた作品の販売なども行われました。

さらに、毎年参加される方が楽しみにされている各町村の社会福祉協議会職員による福祉劇。今回は『阿蘇にこだまするふれあいの心』パート5（地域で子育て、親育て）と題し、ユーモアを交えながらも、地域全体で障害を持つ子供の子育てや親のあり方、いじめに立ち向かっていく姿を熱演されました。中でも「アキばあさん」（役名。一の宮町社協職員の山本さんが演じている。）と「ハルばあさん」（役名。蘇陽町社協職員の春高さんが演じている。）のユーモアたっぷりのやり取りは、毎年、大好評で、参加者の多くがこの劇を見たくてご来場いただいているといっても過言ではないのではないのでしょうか。

そしてフェスタのフィナーレとして、来場者全員で「阿蘇やまびこの歌」を合唱し、大会を終了しました。

このように、この阿蘇やまびこふれあいフェスタはたくさんのボランティアや協力団体の方々の支え合いによって成り立っており、まさに阿蘇郡が一つとなったイベントです。

これからも阿蘇やまびこネットワークがさらに阿蘇地域に浸透し、阿蘇地域が益々住み良い地域となるよう阿蘇郡が一丸となって取り組んでまいります。

熊本県地域福祉メールマガジン

月刊「みんなでたのしく輪になって」 No. 10

【発行】 熊本県健康福祉部福祉のまちづくり課地域福祉企画班

記載内容に関するお問い合わせ、情報提供、ご意見、配信の解除、メールアドレスの変更など一切の連絡は、熊本県健康福祉部福祉のまちづくり課地域福祉企画班へお願いします。

E-mail: fukusimati@pref.kumamoto.lg.jp

TEL: 096-383-1185

FAX: 096-387-5992